

報道関係者各位

2013年6月17日

「東急セキュリティ見守り隊」を創設、東急線沿線地域の安全安心を見守ります
～ 6月17日、目黒区内で活動開始～

東急セキュリティ株式会社

東急セキュリティ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役：波戸 覺）は6月17日、「東急セキュリティ見守り隊」を創設し、活動を開始しました。

「東急セキュリティ見守り隊」は、東急セキュリティのユニフォームを着用した隊員が2人1組で住宅街を徒歩巡回し、安全パトロールを行いつつ、防犯や高齢者に関する情報満載の「東急セキュリティ新聞」を巡回ルート各住宅へ配布するものです。見守りと防犯の呼びかけ、情報提供などを行って犯罪抑止力を向上し、東急線沿線地域をますます安全・安心な住みやすい街にしていくことが狙いです。隊員は、シルバー人材センターに登録された方々や、東急グループ企業のOBなどで構成します。街のパトロール活動に民間企業が単独で取り組むのは、全国でも珍しいケースとなります。スタート時の活動エリアは目黒区の碑文谷・洗足・原町・南で、エリアは順次拡大していく予定です。

「東急セキュリティ見守り隊」が配布する「東急セキュリティ新聞」には、高齢者に役立つ情報や、所轄の警察署から提供を受けた東急線沿線地域の犯罪発生状況、振り込め詐欺や空き巣など最新の犯罪手口、防犯対策などを掲載しています。年数回発行の予定で、「東急セキュリティ見守り隊」による配布のほか、東急線の駅、東急線沿線の東急ストア店内にも設置します。

東急セキュリティは、ホームセキュリティ（防犯）、シニアセキュリティ（高齢者見守りサービス）、エキップ（子ども見守りサービス）、鉄道警備隊などを展開する地域密着の警備会社です。地域密着企業ならではの取り組みにより、東急線沿線の価値を高め、より安心して住みやすい街づくりに貢献してまいります。

「東急セキュリティ見守り隊」と「東急セキュリティ新聞」の概要は、別紙のとおりです。



東急セキュリティ見守り隊（イメージ）



東急セキュリティ新聞



(別紙)

1. 東急セキュリティ見守り隊

(1) 活動内容

- ・ 東急セキュリティユニフォーム(ビブス・キャップ・バッグ)を着用して、2人1組で住宅街を徒歩で巡回
- ・ 「東急セキュリティ新聞」を巡回ルートの各住宅へ配布

(2) 巡回エリア

目黒区の碑文谷1～6丁目、洗足1～2丁目、原町1～2丁目、南1～2丁目
8月以降、活動エリアを拡大予定

(3) 活動規模・時間

原則として2人1組・合計10人程度の規模で、1日約3時間活動(平日のみ・雨天中止)

2. 東急セキュリティ新聞

(1) 体裁

タブロイド版カラー4ページ

(2) 掲載内容

- ・ 東急線沿線エリアの犯罪情報、防犯対策
- ・ 東急線沿線の高齢者事情、健康情報 ほか

(3) 配布エリア

- ・ 「東急セキュリティ見守り隊」の巡回ルートの住宅
- ・ 東急線各駅のラック(一部除く)
- ・ 東急線沿線の東急ストア店内(一部店舗除く)

(4) 発行頻度

年5～6回程度

3. 本件に関するお客様からのお問い合わせ先

東急セキュリティ お客様センター 0120-109-253

営業時間 9:00～18:00(年末年始休業)

(参考) 東急セキュリティ 会社概要

【事業内容】

- ホームセキュリティ(ご自宅の防犯)
- シニアセキュリティ(高齢者見守りサービス)
- エキッズ(東急線改札通過メール配信による「子ども見守りサービス」)
- キッズセキュリティ(学校や塾からメールが配信される「子ども見守りサービス」)
- 鉄道警備隊
- マンション、オフィス、商業施設、店舗などのセキュリティ
- 商店街や繁華街の防犯カメラ など

【機械警備サービス提供エリア】

東急線沿線の以下20市区(一部を除く)

東京都 : 渋谷区・世田谷区・目黒区・品川区・大田区・町田市・狛江市

神奈川県 : 川崎市(中原区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区)・横浜市(青葉区・都筑区・港北区・緑区・西区・神奈川区・中区)・大和市

以上